

第93回連合堺・泉州・泉南地区合同メーデー宣言

私たちは本日、大阪で101年目を迎える「第93回連合堺・泉州・泉南地区合同メーデー」を開催した。

2020年から今日に至るまで、新型コロナウイルス感染症により、人と人との接触が制限されてきた。いまだ収束の見通しは立たないものの、本日堺・泉州・泉南地区の仲間がオンラインで結集することができた。働くことの尊厳を守り、働く者の多様な思いを集結させるメーデーに際して、「つながること、団結すること」の重要性を再確認し、この喜びをみんなで分かち合いたい。

国内に目を向けると、激甚化・頻発化する自然災害をはじめ、私たちの生活に多大な影響を及ぼし続ける感染症、そして浮き彫りとなった社会的セーフティネットの脆弱性や深刻化するさまざまな格差が、今なお社会に大きな痛みを与え、多くの人たちが困難に直面している。

特にコロナ禍は、社会の脆弱さと不条理を明らかにした。だからこそ私たちは、自己責任の「自助」ではなく、支え合い・助け合いの「公助」と「共助」に重きを置く。その実現のためにも、ジェンダー平等はもとより、多様な価値観・背景を持つさまざまな人たちの社会対話をさらに進めていこう。

他方、世界に目を転じたとき、決して看過できないことがある。今から2ヵ月前、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、独立国の主権とそこに暮らす人々の生活を踏みにじっている。ウクライナ国民と連帯し、平和と秩序を武力によって破壊する暴挙を断じて許さず、核兵器のない平和で安定した世界を実現しよう。

さらに、ミャンマーでの市民弾圧など、人類普遍の価値たる人権を、今なお侵害し続ける国や地域も存在する。今こそ私たちは、連合結成時のスローガンである「平和 幸せ 道ひらく」の原点に立ち返り、平和・人権・環境・労働が守られる、自由で民主的な世界の構築に向け、国際連帯を深めていこう。

いまこの時も、私たちの生命・生活、そして社会を懸命に支え続けている数多くの働く仲間がいる。社会を支え続ける仲間たち、すべての働く仲間の奮闘を互いに称えつつ、誰一人取り残されることのない社会、一人ひとりが尊重される多様性を認め合う社会をめざし、みんなが輝く未来を、この大阪の地から力をあわせてつくっていこう。

以上、ここに宣言する。

2022年5月1日

第93回 連合堺・泉州・泉南地区合同メーデー